

おかやま県民文化祭参加

吉備路の文学者 生誕・没後記念展 2025

2025.9.23(火)→11.30(日)



展示文学者

岸田吟香（没後二〇〇年）
戸川残花（生誕一七〇年）
木下利玄（没後一〇〇年）
米川正夫（没後六〇年）
石川達三（生誕二〇〇年・没後四〇年）

併催：企画展「吉備路ゆかりの文学者を知る」(2階展示室)

開館：9時30分～17時(入館は16時30分まで)

休館日：毎週月曜日(祝日は開館)、祝日の翌日(9月24日(水)、10月14日(火)、11月4日(火)、11月25日(火))

入館料：一般400円、大学・高校生300円、中学・小学生200円

*シルバー割など各種割引あり



後援：中国銀行 岡山県郷土文化財団、岡山市文学賞運営委員会

展示期間中のイベント

おかざき はやと

岡崎隼人氏(小説家、岡山県在住)

講演会&サイン会

10/25
(土)

【講演会】13時30分～14時30分頃
「なぜ書くのか? どう書くのか?」
—創作秘話、小説の力、岡山で執筆する意味—

【サイン会】講演会終了後～15時頃まで
『書店怪談』(岡崎隼人著、講談社、2025年8月)発売記念

会場 吉備路文学館 定員 50名 (要予約・先着順) 申込方法 電話 (086) 223-7411にて。

●入館料でご参加いただけます。

●サイン会対象書籍『書店怪談』(講談社)は、10月25日(土)に、吉備路文学館にて販売いたします(現金払いのみ)。

●なるべく公共交通機関をご利用ください。



岡崎隼人氏



吉備路文学館

KIBIJI LITERARY MUSEUM

〒700-0807 岡山県岡山市北区南方3-5-35
TEL(086) 223-7411 FAX(086) 223-7418
<http://www.kibiji.or.jp>



文学創造都市 おかやま

吉備路の文学者 生誕・没後記念展

2025.9.23(火)
→11.30(日)



展示文学者



きしだ ぎんこう
岸田吟香

新聞記者

天保4(1833)年生
明治38(1905)年没

没後120年

とがわ ざんか
戸川残花

詩人・評論家

安政2(1855)年生
大正13(1924)年没

生誕170年

きのした りげん
木下利玄

歌人

明治19(1886)年生
大正14(1925)年没

没後100年

よねかわ まさお
米川正夫

ロシア文学者

明治24(1891)年生
昭和40(1965)年没

没後60年

吉

備路とは、岡山県全域(備前・備中・美作)と広島県東部(備後)の地域を古くから呼称した言葉です。

本展示では、吉備路ゆかりの文学者のなかから、2025年に生誕・没後の節目を迎える5人を紹介いたします。

この機会に、今まで知らなかった吉備路の文学者の展示をお楽しみください。

いしかわ たつぞう
石川達三

小説家

明治38(1905)年生
昭和60(1985)年没

生誕120年
没後40年



北泉庭のご案内

吉備路文学館には、小さな日本庭園があります。
館内からゆっくりながめたり、庭をめぐってみたり。

春 夏 秋 冬

四季それぞれの彩りをお楽しみいただけます。

〈交通のご案内〉

J Rでお越しの方：岡山駅より徒歩15分、タクシー3分

バスでお越しの方：岡電バス(妙善寺・三野公園)行、

または宇野バス(美作方面)行で「南方交番前」下車徒歩3分

お車で越しの方：文学館前の道路は午前東行・午後西行の一方通行です。



秋の庭

